

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば



2011.9
第122号

弘前城築城400年記念バージョン ー弘前ねぶたまつりー



「弘前城築城400年記念バージョン」ということで、マスコットキャラクターの「たか丸くん」を題材に製作した前ねぶた等を審査する「たか丸くんねぶたコンテスト」も合わせて実施され、趣向を凝らした様々な「たか丸くん」を見る事ができました。例年であれば、日中のねぶた運行で終了する最終日「なぬか日」も、「なぬか日スペシャル」としてまつりの最後を飾りました。岩木川河川敷を会場に、ねぶた3台を燃やし、炎で災いや邪気を祓い清め



今年も8月1日(月)～8月7日(日)の7日間、「弘前ねぶたまつり」が開催されました。運行期間中は概ね好天で、熱い暑いまつりとなりました。

今年は、連日の合同運行が開始された1975年以降最多の84団体が参加した昨年より2団体減った82団体が参加。また、開催前日の7月31日には、東日本大震災鎮魂の祈りを込め、20団体が特別運行に参加しました。

ようという願いを込めて、今年初めて行われました。

弘前から、まつりを通して「元気」を発信できたのではないかと思いました。

禁煙外来について



2006年から健康保険等を使って禁煙治療が受けられるようになり、当院でも今年の7月1日から、禁煙外来がスタートしました。対象となるのは、特定の条件(ニコチン依存症を診断するテストで5点以上、(1日の平均喫煙本数×これまでの喫煙年数)が200以上)を満たし、1か月以内に禁煙する意志のある人です。期間は12週間で、5回の診察を受けます。健康保険等を使った費用(自己負担分3割として)は、処方される薬にもよりますが約3カ月で12,000~17,000円程度です。使用される禁煙補助薬は、ニコチンパッチ(医師が処方するものと薬局で購入できるもの両方あります。)、ニコチンガム(薬局で購入します。)、バニレクリン(ニコチンを含まない内服薬、医師が処方します。)の3種類です。持病(腎臓の病気、心臓の病気、脳梗塞、精神疾患など)や、仕事(車を運転する等)によっては使用できなかったり、注意が必要な禁煙補助薬もあります。これらの禁煙補助薬は禁煙後の離脱症状をおさえ、禁煙を助けて

くれます。ニコチンパッチ・ニコチンガムを使うと禁煙の成功率が約2倍、バニレクリンを使うと約3倍高まるといわれています。

たばこ依存には、ニコチン依存(身体的依存)と、喫煙の習慣(精神的依存)の2種類があります。本人の意志の力だけで長期間の禁煙ができる喫煙者はごくわずかであることは明らかになっています。禁煙治療により、その人に合った禁煙のアドバイスをうけ、禁煙補助薬を使用することによって禁煙成功率が高まります。

喫煙はまさに百害あって一利なし、新年の目標に禁煙を掲げてみてはいかがでしょうか。

禁煙外来のお知らせ

当院呼吸器科では、皆さんの禁煙を積極的に応援するため、専門外来として、下記のとおり、禁煙外来を実施しております。

記

- ・担当医 中川英之・下山亜矢子
- ・診察日 月曜日~金曜日の午前中
- ・診療科 呼吸器科
- ・対象者 禁煙を希望する外来患者
- ・その他 詳しいことは、呼吸器科外来看護師へお尋ねください。

※ 問診、検査の結果等により保険適用とならない場合もありますのでご了承願います。

平成23年7月1日

弘前病院長

呼吸器科医師：下山 亜矢子

第2回発表会開催ー北東北国立病院医療研究会ー



当院が主催する北東北国立病院医療研究会の第2回発表会が平成23年9月10日(土)13:00~17:00に、弘前病院附属看護学校および地域医療研修センターを会場として開催されました。本研究会の趣旨は、診療や臨床研究、運営等の病院機能に関するさまざまな問題に、目標や課題を共有する病院の職員が連携して取り組む機会をつくることです。同じ国立病院機構に所属する北東北の5病院(青森、八戸、弘前、あきた、盛岡)で構成されています。

今回の発表数は66題(口演発表10、ポスター発表56)、参加者は職員78名、看護学生12名でした。発表会はたいへん盛況だったと思います。ポスター発表では説明者が多くの参加者が取り囲み、質疑応答も活発に

行われました。また5病院は転勤等でそれぞれ身近ですので、会場の所々で、知った顔どうしが集まり、さながら同窓会の様相を呈していました。口演発表も、和やかな雰囲気の中で行われ、フロアからは同じ経験をしたことの紹介や取組みに対して具体的な提案がありました。

第3回発表会を平成24年3月上旬に開催する予定です。これから発表会を重ねることで、当研究会が参加病院にしっかりと根を張り、存在感があって、本当に役に立つものに育っていくことを願っています。

北東北国立病院医療研究会

第2回研究発表会

日時：平成23年9月10日(土)
13:00~17:00

場所：弘前病院附属看護学校、
弘前病院地域医療研修センター

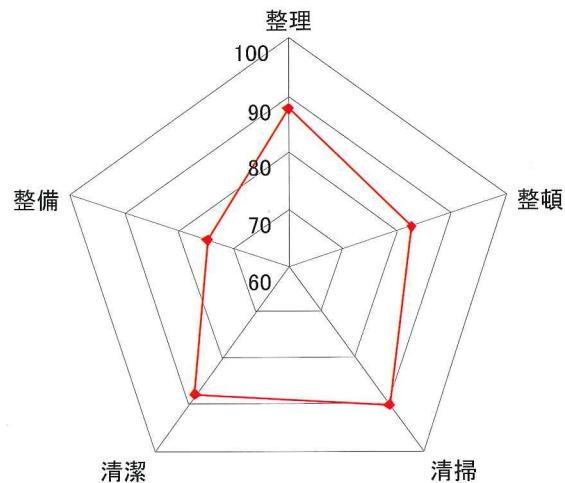


主催：国立病院機構弘前病院

臨床研究部長：泉井 亮

シリーズく患者満足度UPへの対策>(3) アメニティ(快適な環境)③第1回ラウンドチェック結果

平成23年6月に行なった、第1回の清潔度のラウンドチェックの結果を紹介します。整理、整頓、清掃、清潔、整備の5大項目について8職場の合計評価点は55~95点に分布し、平均は83.8点でした。5大項目をそれぞれ100点として表しますと、清掃が90.0点で最も高く、整備が75.0点で最も低い値でした(全体の点数をレーダーチャートに示します)。評価の低い項目を個別にみると、記録室内・廊下等に不要なものは無いか(整理)、掲示物の位置は適切か(整頓)が62.5点、掲示物は整理されているか(整理)、書類・備品はちゃんと置かれているか(整頓)、保守点検の徹底(整備)が75.0点でした。今回のようなチェックをときどき行い、患者・ご家族の皆様の満足が得られるように、改善を進めていくつもりです。



医療サービス向上委員会：加藤 久弥(経営企画室長)

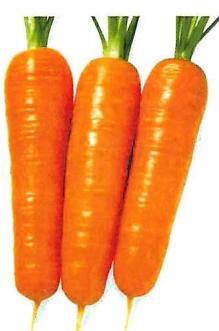
清潔度UPへの対策考－掲示物の整理について－

今回のラウンドで最も評価の低かったのは「記録室内・廊下等に不要なものはないか」の項目でした。具体的には、ナースステーションや廊下に物が溢れていた、掲示物が多く、整理されていなかったことです。この理由は明白で、病院内に、物の量のわりに物を置くことの出来るスペースが少ないのであります。同じような問題は家庭でも見られます。個人の所有物ならば、もう使わないから捨てる、ときめかないから捨てる、と断捨離することもできます。しかし病院内にある物は、医療器具やカルテなど、医療に欠かせない物や患者さまへの大事なメッセージ、職員への伝達事項など、ほとんどが病院の物、みんなの物で、その処分は非常に難しくなります。そしてこれらは、ときめかない物に限って重要であることが多いのです。

掲示物の整理に限って対策を考えてみましょう。すでに十分な期間掲示したとしても、もしかしてまだ見ていない患者さまやご家族、あるいは職員がいたらと思うと掲示物を剥がしてしまうことがどうしても躊躇されます。そこで、掲示物に、掲示した日と撤去する日をあらかじめ記載しておくのはどうでしょう。これには2つの効果が期待できます。一つは、掲示が永遠にあるわけではない、という緊張感から掲示物により注意深くなること、もう一つは、思い切りよく掲示物を剥がす「推進力」を与えてくれることです。実際の効果の程はわかりませんが、まずは、やってみましょう。

(編集部)

いかにんじん



人参は11月~12月頃が旬ですが、一年中出回っていて常備野菜として、彩として多くの料理に使われています。また人参には β -カロテン、 α -カロテンの他にビタミン類や鉄、カリウム、カルシウム、食物纖維などが多く含まれて免疫力や抵抗力を高める作用があります。そこでこの人参を使った福島県の郷土料理『いかにんじん』を紹介いたします。もともと冬の保存食として作られた料理で、特に正月には欠かせない一品です。寒い冬に不足しがちなビタミンやタンパク質を補う料理とも考えられます。作り方は、するめを細く切り(切ってあるものもあります)同じくらいの長さに細く切った人参を醤油、日本酒、みりんなどで味付けるものです。家庭によって昆布を入れたり、味も材料も

異なりますが、基本はするめと人参というシンプルなものです。一説には北海道の松前漬の原型とも言われています。『いかにんじん』はサラダ感覚で食べられることから女性に人気で、また酒の肴として男性にも好まれ、その他ご飯のおかずやお弁当のおかずにも適しており、このシンプルであきのこない味が福島の人々に広く愛されています。



栄養管理室：青島 幸子

外来診療一覧

◆外来医師診療一覧表 (2011年9月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
		下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
消化器・血液内科		太田健	太田健	太田健	太田健	太田健
		松木明彦	五十嵐崇徳	五十嵐崇徳	五十嵐崇徳	五十嵐崇徳
		佐藤年信	松木明彦	佐藤年信	松木明彦	佐藤年信
小児科		三上珠希	野村由美子	杉本和彦	野村由美子	野村由美子
		杉本和彦	佐藤工	三上珠希	佐藤工	杉本和彦
		—	—	三浦文武	三浦文武	—
外科		田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹	横山昌樹	三上勝也
		三上勝也	三上勝也	田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹
整形外科	午前	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之 大鹿周佐	又は	柿崎寛
		大鹿周佐	佐々木 静	大鹿周佐	浅利享	秋元博之
	午後	—	—	—	—	柿崎寛
脳神経外科		—	—	木村正英	—	—
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	●予約	●手術／検査	●予約	●手術／検査	●予約
泌尿器科		大和隆	大和隆	大和隆	大和隆	大和隆
産婦人科		小笠原智香	尾崎浩士	小笠原智香	●妊婦検診 (一般外来休診)	尾崎浩士
		柞木田礼子	鈴木洋一郎	鈴木洋一郎		柞木田礼子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	●手術	黒田令子	黒田令子
		二井一則	二井一則	(一般外来休診)	二井一則	二井一則
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	—
女性専用外来		杉本菜穂子(※予約制／第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

広報誌編集委員会において投稿されました川柳の選出を行いましたが、今月は掲載まではいたりませんでした。来月号に期待をしております。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。

皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：臨床研究部長 泉井亮

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>